

# 第1回 安威川ダム周辺整備検討委員会

## 資料3：ダム事例について

### 目次

1. 全国におけるダム湖の利用実態	1
2. 計画地近傍ダム湖の利用概要	2
日吉ダム	5
天ヶ瀬ダム	6
布目ダム	7
青蓮寺ダム	8
一庫ダム	9
3. 参考資料	10

平成19年7月30日

大阪府・茨木市

# 1. 全国におけるダム湖の利用実態

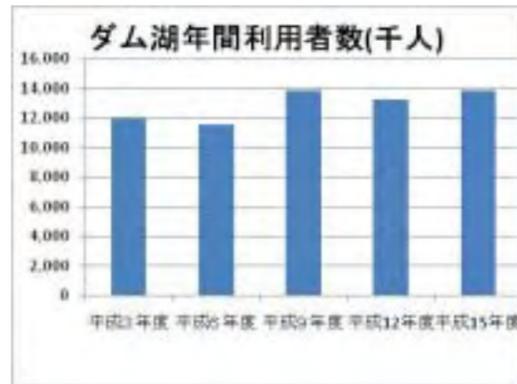
国土交通省では平成3年以降、概ね3年毎に「河川水辺の国勢調査」として全国の所管河川及びダム湖において自然環境及び利用実態に関する調査を行っている。

このうち「ダム湖利用実態調査編」では国土交通省の直轄ダム、水資源機構ダムおよび内閣府管理(沖縄)のダムについての利用実態調査結果が整理されており、その中から以下に全国的なダム湖の利用者数の推移及び利用者数の多いダムに関する調査概要を示す。

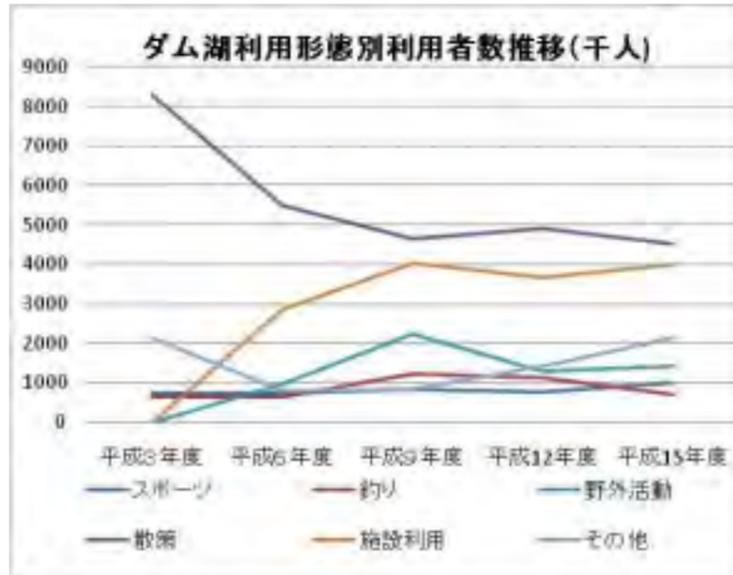
なお平成15年度版では全国98か所のダムで調査が行われており、全国で約1.4千万人の年間利用者数を推計している。

調査手法等については、「3.参考資料」参照

	ダム数	ダム湖年間利用者数
平成3年度	75	11,985
平成6年度	81	11,543
平成9年度	82	13,844
平成12年度	91	13,199
平成15年度	98	13,853



全国のダム湖利用者数の推移



利用形態別利用者数の推移

平成15年度調査において、利用者数が上位に位置したダム湖の概要及び利用形態別に上位のダム湖は以下の通りである。

利用者数の多いダム湖については、「比較的大都市近郊」、「周囲に有名観光地が位置する」、「スポーツ・レクリエーション施設が充実」という共通した要素が伺える。

網掛けは近畿地方に位置するダムを示す。

順位	ダム名	利用者数(千人)	近隣都市	近隣都市人口(千人)	近隣都市からの距離(km)	完成年	ダム湖と周辺特徴	利用者の多い施設や場所
1	宮ヶ瀬ダム	1,348	相模原	610	12	平成13年	首都圏から日帰り可能 充実した公園施設	及沢園地 県立あいかわ公園
2	御所ダム	1,013	盛岡	280	9	昭和56年	盛岡市郊外 湖畔に熱温泉	手作り村、乗り物広場
3	金山ダム	728	旭川	363	88	昭和42年	充実したウォータースポーツ施設	森林公園、キャンプ場
4	日吉ダム	534	京都	1,465	26	平成9年	ダム堤体と一体となった公園施設	スプリングスひよし 府民の森
5	三春ダム	434	郡山	360	10	平成10年	「水かけまつり」有名	田園生活館 自然観察ステーション 石塚水生生物観察園
6	草木ダム	432	桐生	115	25	昭和52年	日光への街道沿い 美術館や宿泊施設	富広美術館 サンレイク草木(国民宿舎)
7	釜淵ダム	385	仙台	102	17	昭和45年	国営公園と一体的に整備	国営みちのく社の湖畔公園 オートキャンプ場付近
8	天ヶ瀬ダム	351	京都	1,465	15	昭和39年	琵琶湖国定公園内	ダム直下流地区 大石運動公園
9	白川ダム	350	長井	32	18	昭和55年	新豊連峰に 囲まれた立地	源流の森、湖畔公園
10	七ヶ宿ダム	346	白石	41	11	平成3年	歴史ある 七ヶ宿街道沿い	七ヶ宿公園、材木岩公園

順位	スポーツ	釣り	ボート	散策	野外活動	施設利用	その他	イベント
1	宮ヶ瀬69	赤目61	宮ヶ瀬23	宮ヶ瀬510	金山286	御所708	宮ヶ瀬36	宮ヶ瀬523
2	滝里64	下久保57	金山113	七ヶ宿256	日吉124	三春298	御所183	御所193
3	土師54	日吉40	清山7	鶴田177	真名川78	岩屋276	金山175	釜淵50
4	緑川43	瀬山29	竜門5	桂沢168	八田原73	草木266	釜淵95	新宮50
5	美利河41	弥栄26	滝里5	金山146	天ヶ瀬65	白川220	日吉93	瀬田44
6	二風谷38	一庫21	下久保5	滝川130	弥栄65	釜淵214	長井78	天ヶ瀬36
7	弥栄37	釜淵20	相模3	一庫128	二風谷62	宮ヶ瀬208	新宮53	緑川34
8	高山34	三春20	瀬田3	浅瀬石川115	一庫60	日吉204	弥栄52	田瀬33
9	宮ヶ瀬31	天ヶ瀬19	九頭竜2	草木110	緑川42	野村164	五十嵐49	金山26
10	瀬田26	田瀬17	土師2	手取川100	島地川32	寺内110	瀬田43	鶴田26
平均	10	7	1	46	15	41	22	13
合計	983	702	87	4,502	1,434	4,008	2,137	1,319

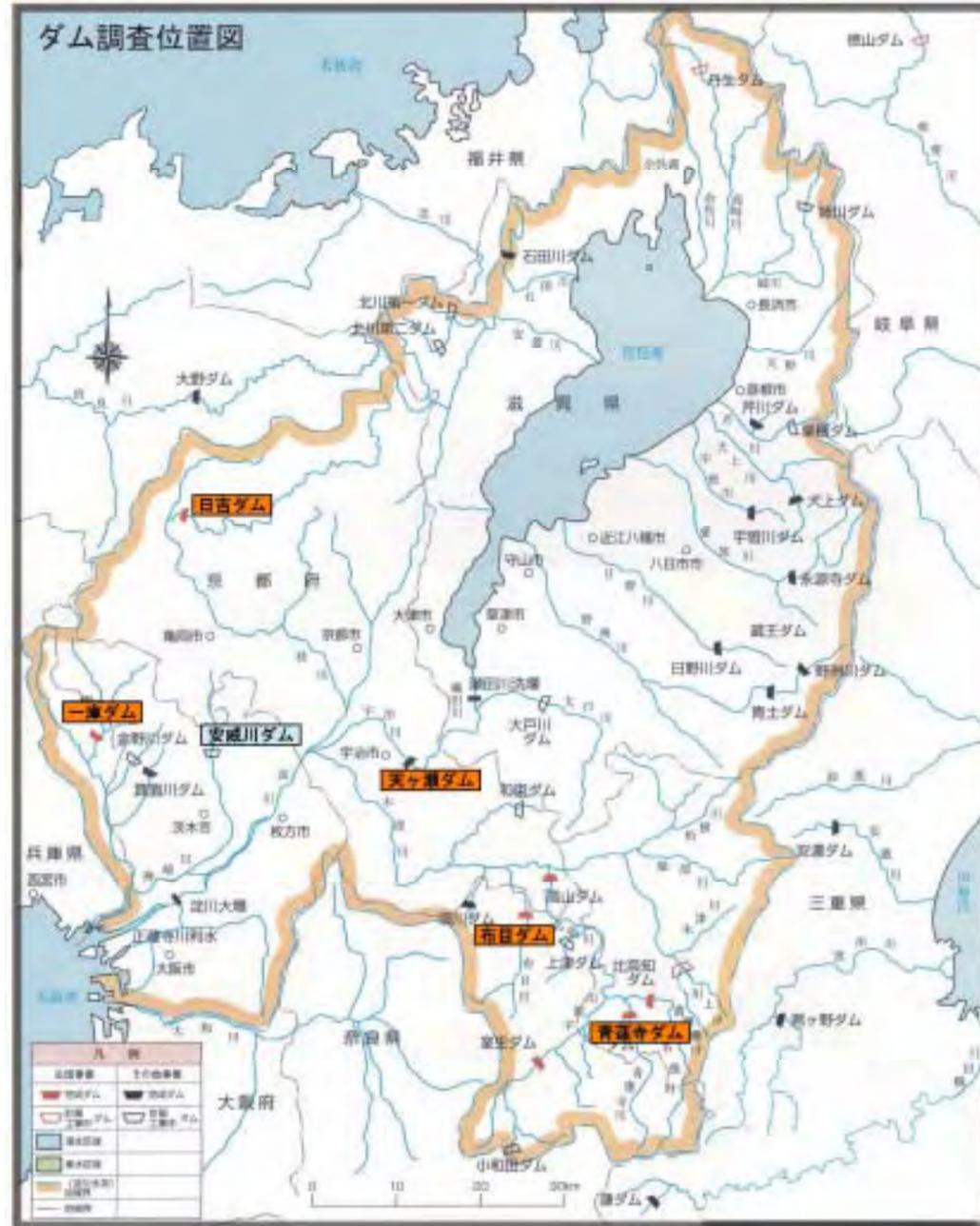
利用者数及び利用形態別上位のダム

## 2. 計画地近傍ダム湖の利用概要

ここでは先に述べた調査結果のうち、当該計画地近傍に位置するダムのデータを取りあげる。

調査ダムとしては安威川ダム同様、淀川水系に位置し、大都市圏からの日帰りレクリエーション拠点として整備が進められた「日吉ダム(京都府南丹市)」、「天ヶ瀬ダム(京都府宇治市)」、「布目ダム(奈良県奈良市)」、「青蓮寺ダム(三重県名張市)」、「一庫ダム(兵庫県川西市)」の5ダムを選定した。

なお、～については平成15年度に「利用者の多いダム(成功事例)」として、については平成17年度に、「市民参加手法による整備事例」として「安威川ダム利用促進検討業務」の中でヒアリング調査を行っている。



調査ダムの位置図

平成15年度安威川近傍のダムデータ						
近傍ダム	利用者(千人)	ダム形式	堤高(m)	総貯水量(万m <sup>3</sup> )	完成年	取組など
日吉ダム	533.9	重力式	70.6	6600	平成9年	スプリングス日吉(プール、温泉、レストラン、特産品)、るり溪、府民の森
天ヶ瀬ダム	350.8	アーチ式	73	2628	昭和39年	森林公園、スポーツ村、近くに平等院
布目ダム	134.8	重力式	72	1730	平成3年	ダム湖噴水、さぎなみ公園、牛ヶ峰コスモス公園、ダムまほろば広場
青蓮寺ダム	77.5	アーチ式	82	2720	昭和45年	A～Fの6地区に分けてパノラマゾーン、バードサンクチュアリー、野外活動ゾーンを設ける
一庫ダム	302.2	重力式	75	3330	昭和58年	一庫公園、遊歩道、キャンプ場、なぎさ、展望台

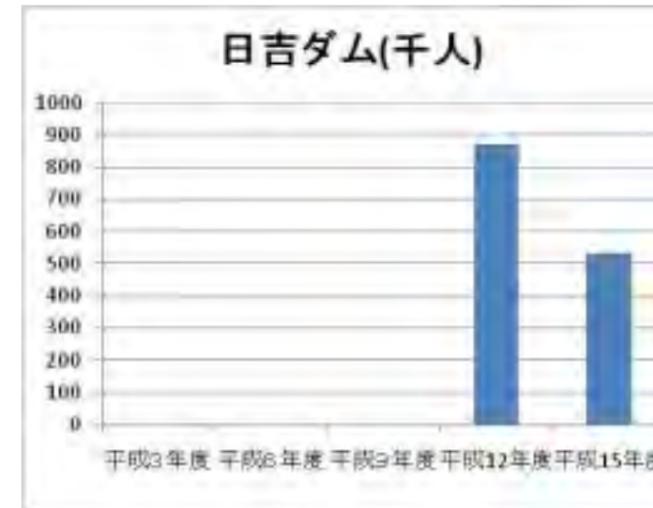
調査5ダムの概要

これら調査5ダムのうち日吉ダム及び天ヶ瀬ダムについては、平成15年度調査で利用者数上位10内のダムにランクされている。

利用形態別では天ヶ瀬ダムが「スポーツ」、また布目ダムが「釣り」で1位であり、日吉ダムについては「釣り」及び「野外活動」で3位以内に位置している。

前頁参照。

<日吉ダム>



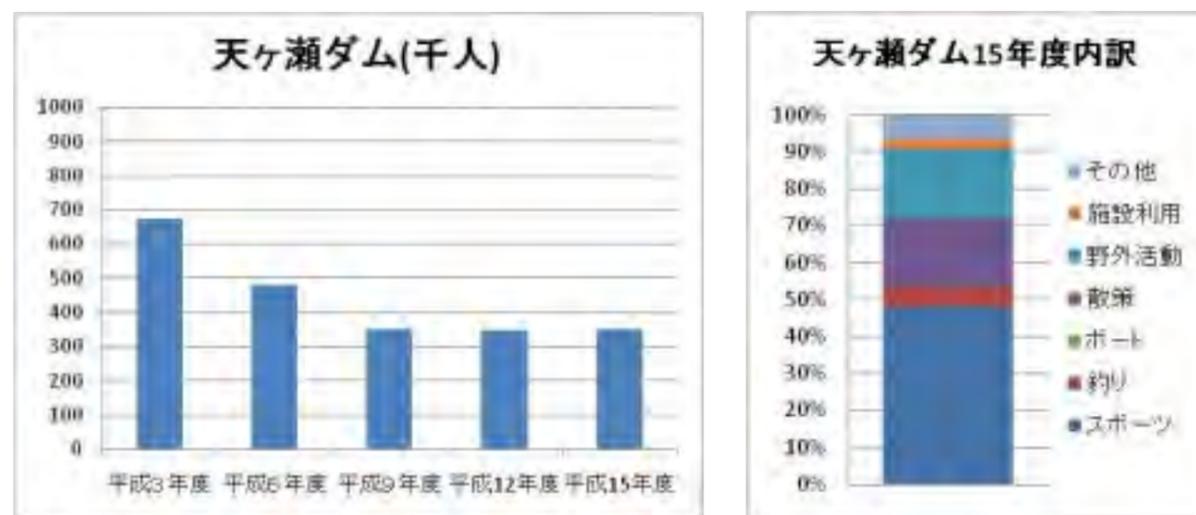
淀川水系桂川上流部に位置する。

整備計画の中心となるダム直下流は、ダム本体と広大な公園で構成されており、円形橋や広場などの施設の他に「スプリングスひよし」がある。

平成15年度における年間利用者数は53万人と推計される。

利用形態別の内訳を見ると「施設利用」が約4割であり温泉などのある「スプリングスひよし」の利用が多い。また、「野外活動」が約2割を占めており「スプリングスひよし」や「府民の森」周辺の利用が多い。

<天ヶ瀬ダム>

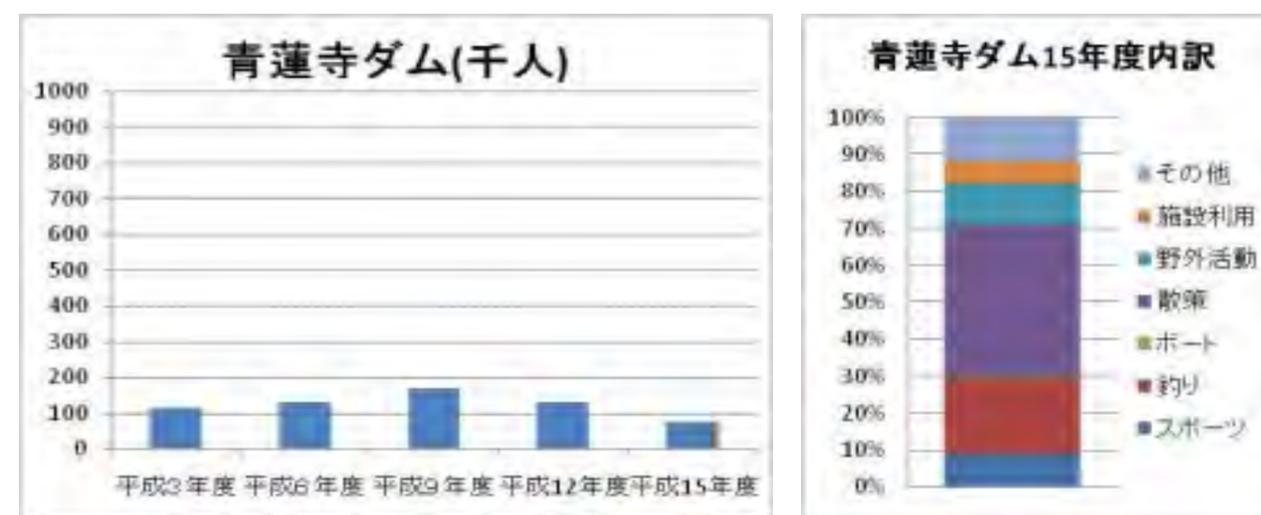


ダム湖は平等院、宇治橋等の名勝を有する宇治市と琵琶湖の玄関口である大津市を結ぶ観光ルート沿いに位置する。また、琵琶湖国定公園内に位置する。

平成15年度における年間利用者数は35万人と推計される。

利用形態別の内訳を見ると「スポーツ」が約5割を占めており、大石運動公園地区の利用が多い。また、「散策」と「野外活動」がともに2割程度でダム本体周辺、およびダム本体直下流の利用が多い。

<青蓮寺ダム>

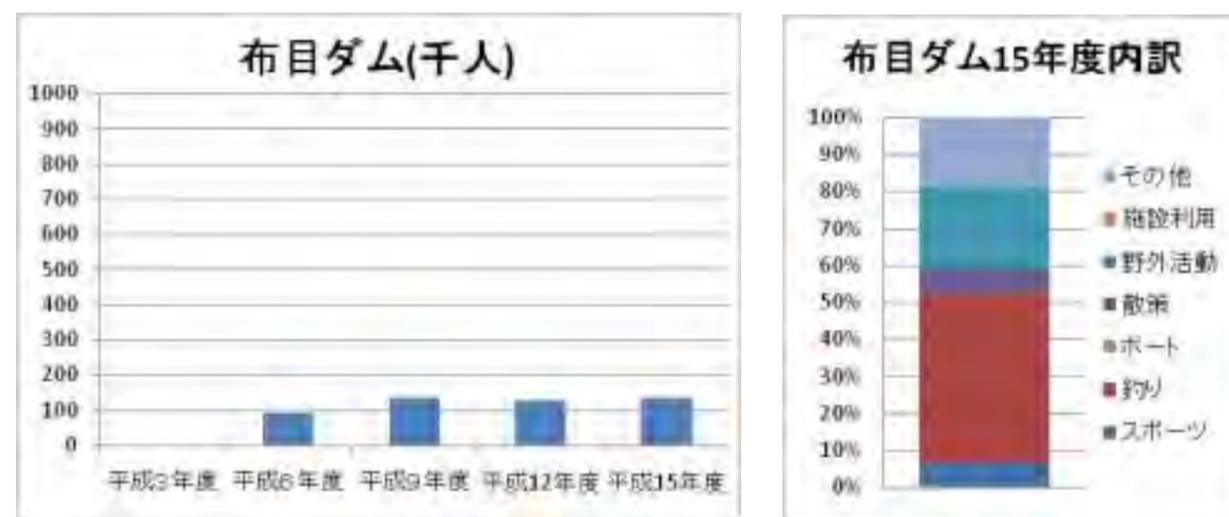


曲線を生かした堤高82mのアーチダムである。近鉄名張駅から3kmに位置し、室生・赤目・青山国定公園に隣接する観光ルート上にある。

平成15年度における年間利用者数は7万8千人と推計される。

利用形態別の内訳を見ると、「散策」が約4割を占めており、遊歩道のある左岸湖畔の利用が多い。また、「釣り」が約2割を占めている。

<布目ダム>

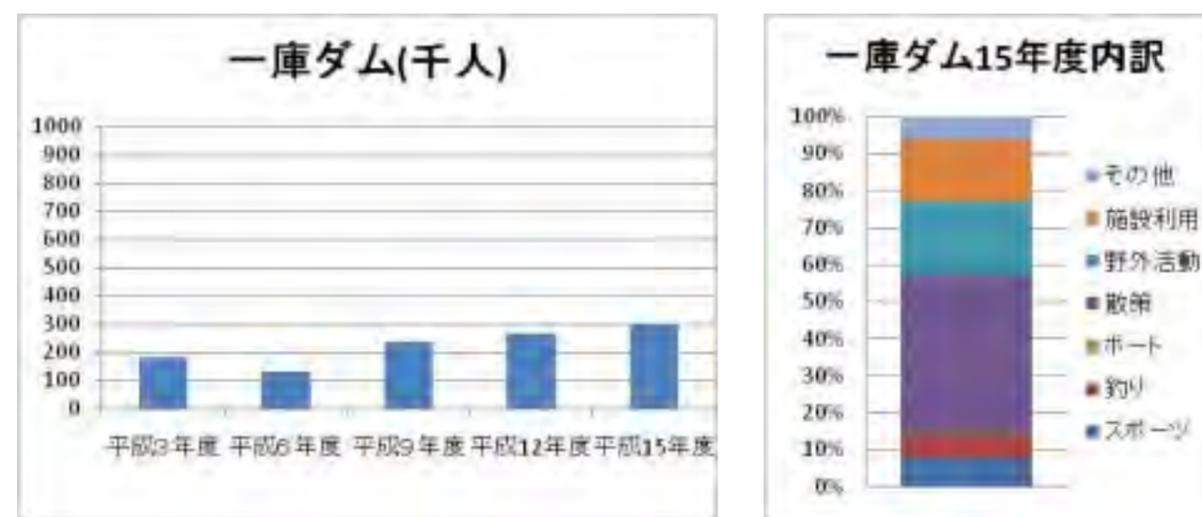


奈良の東端に位置し、交通の便に恵まれている。ダム湖周辺には景観を楽しめる広場が設けられ、自然とのふれあいの中での行事が開催されている。

平成15年度における年間利用者数は13万5千人と推計される。

利用形態別の内訳を見ると、「釣り」が約4割を占めている。また、「野外活動」が約2割を占めており、ダム本体周辺、広場や公園が整備された副ダム貯水池レクリエーション広場(ダム湖上流端)、およびコスモス公園がある右岸湖畔の利用が多い。

<一庫ダム>



ダム湖は兵庫県と大阪府の府県境、北摂の山並みが阪神平野へと連なる出口部に位置し、周辺には大規模団地が開発されている。わが国でも有数の都市近郊型ダムである。

平成15年度における年間利用者数は約30万人と推計される。

利用形態別の内訳を見ると、「散策」が約4割を占めており、ダム下流広場や一庫ダム駐車場、国崎湖岸付近の利用者が多い。また、「野外活動」は約2割を占めており、ダム湖上流端の千軒キャンプ場、知明湖キャンプ場、および多目的広場等を備えた国崎せせらぎ地区(ダム湖上流端)の利用が多い。

## 安威川ダムと近傍ダムとの比較

ダム名	立地条件	アクセス	周辺資源	備考
安威川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨木市中心部から北へ直線距離で約6～7kmと市街地に近接している。</li> <li>茨木市の市街地や国際文化公園都市「彩都」といった都市空間と、北摂自然公園区域や近郊緑地保全区域といった自然空間の接点に位置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の主要なアクセスは府道茨木亀岡線であり、公共交通機関では阪急茨木市駅からバス路線が通じている(約30～40分)。</li> <li>平成30年度には新名神が開通予定であり、茨木北IC(仮称)から大岩線による広域的アクセスも可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竜王山、東海道自然歩道、豊富な動植物などの自然資源や阿武山古墳、権内水路などの歴史文化資源を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利水容量の縮小(常時満水位の低下)により竜仙峡が保全される。</li> <li>ダム湖上流部の右岸を中心に平坦地が残されると共に、左右岸を繋ぐ登龍橋や高橋の利用も可能となる。</li> <li>水辺と一体となったレクリ空間の創出が可能となった。</li> </ul>
日吉ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市の中心部から北西に直線距離にして約25～30km、車・電車共に約1時間、京都府のほぼ中央部に位置する。</li> <li>大阪圏からは車、電車共に約1.5時間程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR山陰本線日吉駅から、徒歩40分、路線バス10分程度。</li> <li>京都縦貫道園部ICより約10分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かやぶき音楽堂(国登録有形文化財)</li> <li>清源寺(木喰仏)</li> <li>園部城跡</li> <li>生身天満宮</li> <li>かやぶきの郷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム堤体下流側に総合リラクゼーションスポットである「スプリングス日吉」。</li> <li>堤体上流側にビジターセンター。</li> <li>ダム湖中流部に「府民の森ひよし」、「梅野木谷公園」。</li> <li>ダム湖上流部に「宇津峡公園」が整備。</li> </ul>
天ヶ瀬ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府宇治市から約2.5km(京都市内から約15km)の都市型ダム。</li> <li>周辺は琵琶湖国定公園に含まれており、自然環境を利用したゴルフ場や森林公園などが存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪から宇治駅まで約40～50分。</li> <li>京都から宇治駅まで約15分。</li> <li>徒歩にて京阪宇治駅から約50分、JR宇治駅から約1時間。</li> <li>タクシーでは10分程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平等院、宇治橋。</li> <li>京滋バイパスを利用することで、大津市・比叡山・石山寺にも近く観光ルートとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム湖下流付近に、「右岸展望広場」、「天ヶ瀬森林公園」。</li> <li>ダム湖上流部に「大津市都市公園」が整備。</li> </ul>
布目ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和高原北部地方に位置し、眺望・オープンスペースといった自然的景観に依存した観光レクリ圏域に含まれる。</li> <li>幹線道路網沿いに位置することから、大阪・奈良・京都からほぼ40～90分の日帰り圏内に位置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR・近鉄奈良駅から車(バス)で約60分。</li> <li>名阪国道針ICから約30分。</li> <li>名阪国道山添ICから約20分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神野山(県立月ヶ瀬神野山自然公園)。</li> <li>月ヶ瀬梅林。</li> <li>花香房(直産センター)。</li> <li>柳生の郷。</li> <li>円成寺の名勝庭園。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム湖周辺に公園・広場が点在。</li> <li>農村広場には夜間利用が可能な、テニス・ゲートボールコート。</li> <li>副ダム貯水池において、ヨットやカヌー等湖面利用施設(山添村B&amp;G海洋センター)が整備。</li> </ul>
青蓮寺ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>名張市街から約5km程度の距離にある。また大阪や名古屋のベッドタウンに隣接する都市型ダム。</li> <li>下流には大学も立地。</li> <li>周辺は室生・赤目・青山国定公園に指定されている</li> <li>貯水池を含めた全体が赤目・一志峡県立公園に指定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近鉄名張駅から自動車約5分、徒歩で25分。</li> <li>名阪国道針ICから約45分。</li> <li>名阪国道上野ICから約35分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>香落溪</li> <li>赤目四十八滝</li> <li>日本オオサンショウウオセンター</li> <li>名張藤堂屋敷</li> <li>曾爾高原</li> <li>ハイキングコース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム両岸は団地のため、堤頂道路は生活道路として機能。</li> <li>キャンプ場や公園、広場、魚釣り場の他、せせらぎ水路・池等を利用したバードサンクチュアリー。</li> <li>ホテルやレストラン(現在は閉店?)が整備。</li> </ul>
一庫ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市内から1時間程度で訪れることが可能。</li> <li>周辺は阪神間のベッドタウンとして急速に開発が進み人口の増加も著しい。</li> <li>猪名川溪谷県立自然公園に含まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神高速池田線木部ICより約20分。</li> <li>能勢電鉄山下駅からバスで約10分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖畔は近畿自然歩道のコース</li> <li>妙見山、多田銀銅山跡</li> <li>郷土館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム湖中央部付近は「県立一庫公園」。</li> <li>キャンプ場、公園、展望台、グラウンド等が整備。</li> </ul>
備考				



# 天ヶ瀬ダム

## 1) 概要(平成 15 年度「安威川ダム利用促進検討業務」より)

当ダムは昭和 28 年(1953)の淀川の大洪水による大被害を契機に、昭和 34 年(1959)に「洪水を防ぐ」「電気を作る」「飲み水を供給する」の 3 つの目的でダムは着工され、昭和 39 年(1964)完成した。

そのため、ダム周辺の整備等のことは考慮して計画されていない。

ダムは、琵琶湖国定公園内にあり、周辺には名所旧跡が多い。特に、平等院や宇治上神社、宇治橋などのある宇治市と大津市を結ぶ観光ルートにそって位置しているため、多くの人々が観光や憩いの場としてダム及び周辺を訪れている。

平成 12 年度の「河川水辺の国勢調査結果」で見ると、利用者数は全国 91 のダムのうち第 8 位に位置し利用者の多いダムである。

主な周辺施設は「天ヶ瀬森林公園」と用地買収でできた河川敷を利用し大津市が整備した「大石緑地スポーツ村」である。

国勢調査結果で見ると周辺施設利用者の 40%はスポーツ利用で、これは「大石緑地スポーツ村」の利用者が多いことによる。また、天ヶ瀬森林公園を含むダム本体周辺及びダム本体直下流での散策が多い。

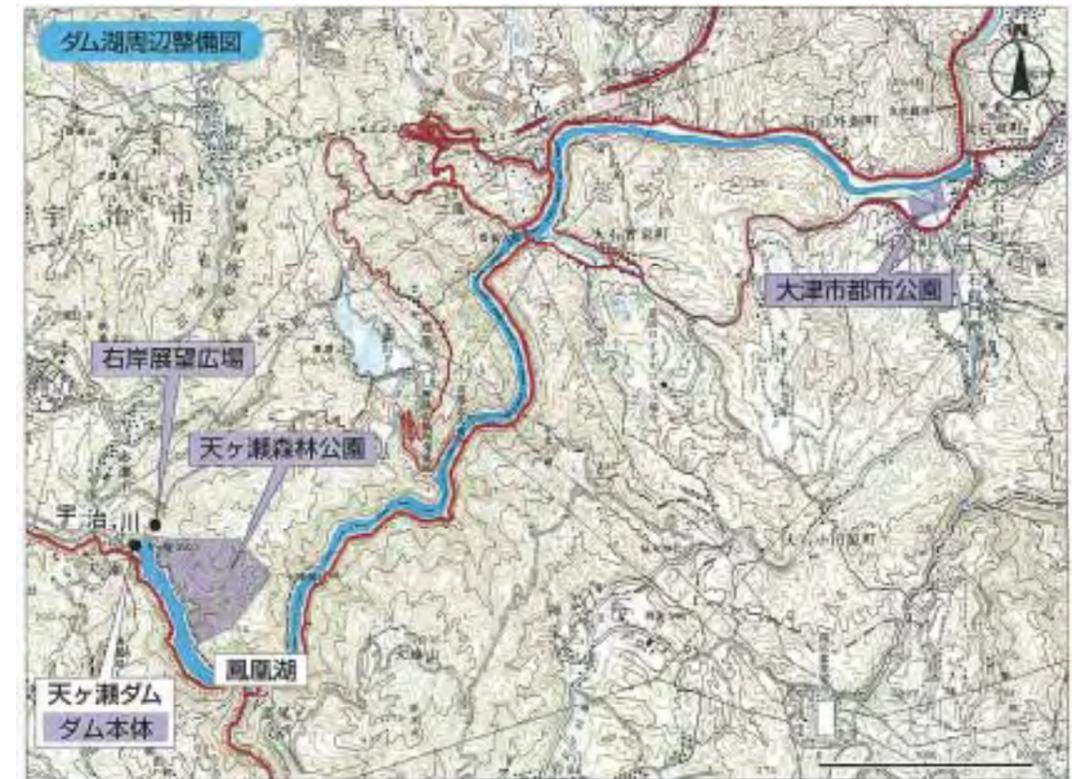
イベントとしては、「森と湖に親しむ旬間」を行っている。また、ダムのライトアップ、スタンプラリーへの協力を行っている。

ただ、国勢調査で見ると、年々利用者数は減少傾向にある。

ダム周辺には駐車場は殆どない。小さな駐車場を整備する計画以外、将来の周辺計画は特にない。また、地形の制約上周辺への施設誘致・整備も難しいと考えられる。



天ヶ瀬森林公園の展望施設からは、眼下にダムや鳳凰湖、宇治市街が一望できる。



# 布目ダム



布目ダムのある大和高原北部地方は、神野山や月ヶ瀬梅林に代表される高原地形の眺望、梅林、水と緑のオープンスペースといった自然的景観に依存した観光レクリエーション圏域を形成している。交通網は、幹線道路網が周辺にあり、奈良や大阪、京都などの都市から、約40分～90分の位置にあることから、立地条件的には大都市圏の日帰りレクリエーション圏内にあるといえる。ダムの利用は主に野外のレジャー客や小学生等の遠足、魚釣り客等である。

ダムまはるば広場



ダムまはるば広場



牛ヶ峰コスモス公園



牛ヶ峰コスモス公園



隠れみれあい広場



ダム周辺に移った石仏

名	種類	制作時代
大橋阿弥地蔵堂仏	坐像	南北朝時代(1355)
大橋阿弥地蔵堂(立像)	立像	江戸時代
権蔵立像	立像	天正元年(1573)
十九日親石仏	石仏	江戸時代
牛ヶ峰地蔵堂坐像	坐像	室町時代
牛ヶ峰阿弥地蔵堂坐像	坐像	室町時代
牛ヶ峰新橋地蔵石仏	石仏	安永4年(1785)
牛ヶ峰六地藏堂坐像	坐像	室町時代
竹の巻地蔵堂坐像	坐像	江戸時代

貯水池の周辺には高所に公園、遊歩道、休憩所が設けられ、ダムを訪れた人達が豊かな自然のなかで水と親しむことのできるスペースが作りだされています。また水没時にあった石仏は、ダム周辺に移され近隣の人たちに親しまれています。

ダムまはるば広場



貯水池の噴水



新ダム貯水池



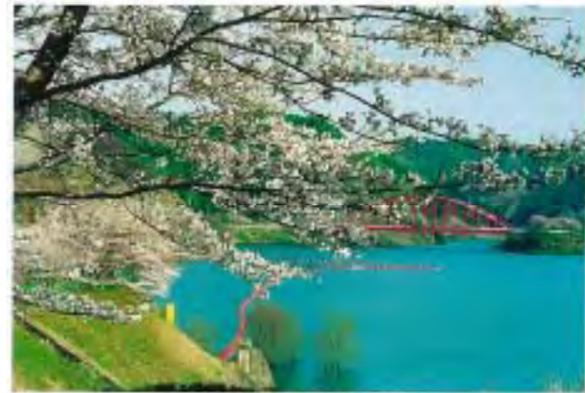
神山さざなみ広場



大橋まはるば公園



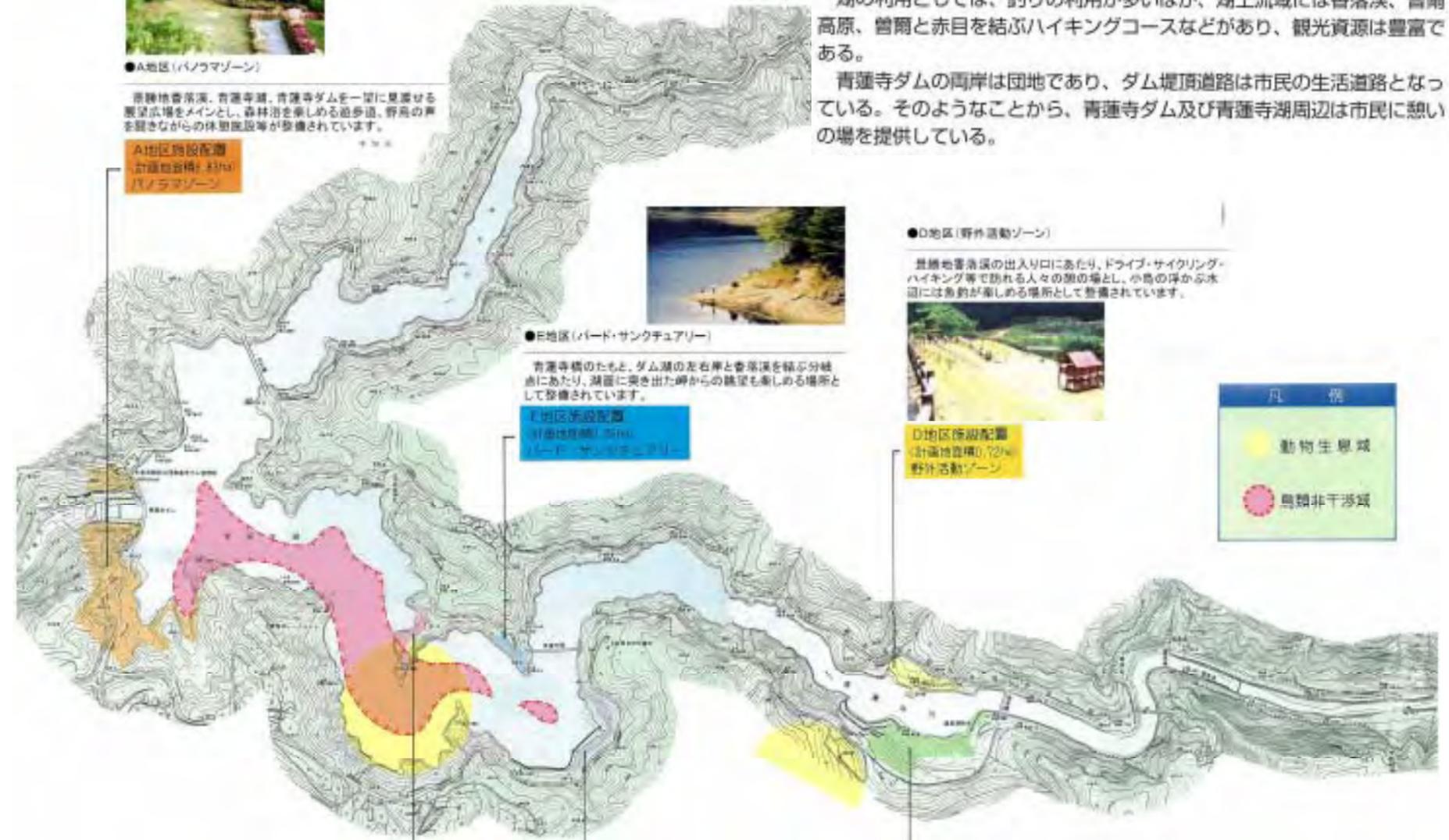
# 青蓮寺ダム



●A地区(パノラマゾーン)

景勝地香深溪、青蓮寺湖、青蓮寺ダムを一望に見渡せる展望広場をメインとし、森林浴を楽しめる遊歩道、野鳥の声を聞きながらの休憩施設等が整備されています。

A地区施設配置  
計画地容積: 47ha  
パノラマゾーン



●E地区(バード・サンクチュアリー)

青蓮寺橋のためと、ダム湖の左右岸と香深溪を結ぶ分岐点にあたり、湖面に突き出た岬からの眺望も楽しめる場所として整備されています。

E地区施設配置  
計画地容積: 25ha  
バード・サンクチュアリー

●D地区(野外活動ゾーン)

景勝地香深溪の出入り口にあたり、ドライブ・サイクリング・ハイキング等で訪れる人々の憩いの場とし、小島の浮かぶ水辺には釣りが楽しめる場所として整備されています。



D地区施設配置  
計画地容積: 72ha  
野外活動ゾーン



●F地区(バード・サンクチュアリー)

湖面の中央に長く突き出た岬の遊歩道から、青く澄んだ湖面に映える四方の山並の眺めを楽しめる憩いの場で、野鳥の保護、繁殖も兼ねた美なる木を主として植えられています。



D地区施設配置  
計画地容積: 0.60ha  
バード・サンクチュアリー

●B地区(バード・サンクチュアリー)

水辺を生かした植物を植え、老人から子供までが自然に楽しみバードウォッチング等が楽しめる湖畔の教養公園が整備されています。



C地区施設配置  
計画地容積: 31ha  
野外活動ゾーン

●C地区(野外活動ゾーン)

家族連れや青少年の仲間達と共に自然の中のレクリエーションを楽しめるように、湖畔に運動広場が整備されています。



青蓮寺ダムは名張市に位置し、市街地より5km程しか離れておらず、都市と隣接したダムである。また、近傍主要都市(大阪・名古屋等)より100km圏であり、周辺は室生・赤目・青山国定公園に、貯水池を含めた全体は赤目・一志峡県立公園に指定されている。

ダムへのアプローチは車、電車等により容易に行うことが可能である。また青蓮寺湖周辺には、ホテル・レストラン・キャンプ場・公園等が整備されており、一年を通じ観光客は多い。

湖の利用としては、釣りの利用が多いほか、湖上流域には香深溪、曾爾高原、曾爾と赤目を結ぶハイキングコースなどがあり、観光資源は豊富である。

青蓮寺ダムの両岸は団地であり、ダム堤頂道路は市民の生活道路となっている。そのようなことから、青蓮寺ダム及び青蓮寺湖周辺は市民に憩いの場を提供している。

# 一庫ダム

知明湖は「猪名川渓谷県立自然公園」に含まれ、湖畔の洲張・出合・国崎・龍化の4地区では「兵庫県立一庫公園」と一体的に一庫ダム湖活用環境整備事業が行われている。



## 一庫公園の主な施設



湖畔の道



丘の湧れ



ネイチャーセンター



森の広場



森の遊び場



自然観察の森



ダム周辺整備とは、新しい河川環境を包摂し、対水地周辺の水と緑のオープンスペースを自然と人工の調和させたリクリエーションゾーンとして一般市民に利用してもらうための施設づくりです。

対水地周辺の水と緑のオープンスペースを自然と人工の調和させたリクリエーションゾーンとして一般市民に利用してもらうための施設づくりです。

ダム下流地区(多目的広場)

面積	14,000㎡
遊歩道	200m
駐車場	1,000台
料金	100円

千軒地区(野中公園広場)

面積	5,000㎡
遊歩道	100m
料金	100円

洲張地区

面積	3,000㎡
遊歩道	200m
料金	100円

出合地区

面積	3,000㎡
遊歩道	200m
料金	100円

国崎地区

面積	3,000㎡
遊歩道	200m
料金	100円

龍化地区

面積	3,000㎡
遊歩道	200m
料金	100円

- 水辺のゾーン**
- 丘のゾーン**
- 山のゾーン**
- ネイチャーセンター**

湖畔の道ではダム本体や湖水を望みながら散歩ができます。道半ばの広場には芝生の駐車場が整備されています。そこは丘のゾーンへの入口です。

周辺を緑で囲まれた丘は自然と人との出会いの場、耳を澄ませば鳥の声が聞こえます。原っぱで自由に遊び、水遊びや水音も楽しめます。

茶の湯で有名な一庫炭が作られた薪炭林(雑木林)が残り、昆虫や植物観察、バードウォッチング等、子供たちが自然の理解への一歩を踏み出せる場として整備されました。

山のゾーンの入り口には一庫地域の自然とふれあうワークショップ、一庫炭や園内に残る銀採掘の歴史などの情報を提供するネイチャーセンターがあります。

### 3. 参考資料

#### 河川水辺の国勢調査〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)の概要

##### 1. 調査概要

ダム事業及びダム管理の適切な推進のため、ダム湖およびダム周辺を環境という観点からとらえた、定期的、継続的、統一的なダムに関する基礎情報の収集整備のために実施。

魚介類、底生動物、動植物プランクトン、植物、鳥類、陸上昆虫類等、両生類・爬虫類・哺乳類に関する調査を行った「生物調査」とダム湖の利用者数等の調査を行った「ダム湖利用実態調査」から成る。

ダム湖利用実態については現在、平成3、6、9、12、15年度の調査結果が公表されている。

平成3年度以降の調査ダム数は順に75、81、82、91、98ダムである。

ダム湖利用実態調査における調査項目とその目的は以下の通りである。

- ・ブロック区分調査...ダム本体と周辺環境整備の利用者の利用環境の把握と調査ブロックの区分。
- ・利用者カウント調査...年間利用者数の推計に用いる基礎データの収集。
- ・利用者アンケート調査...利用目的及び感想等の把握及び年間利用者数推計の基礎データの収集。
- ・イベント調査...ダム湖における各種イベントの開催状況及び参加人数の把握。

##### 2. 調査方法

調査区域...河川区域のダム管理区域を基本とするが、河川区域外にあってもダム湖と隣接して一体となった利用が図られている施設等がある場合はそれを含めて調査する。

調査実施時期...調査日は春季休日2日、春季平日、夏季休日、夏季平日、秋季休日、冬季休日の7日間を設定。平成15年度の調査日は4月29日、5月5日、5月15日(平日)、7月27日、8月7日(平日)、11月3日、1月11日。

ブロック区分調査...対象ダムの基礎情報やダム湖周辺における環境整備状況の整理を行う。また自然利用・施設利用・湖面利用によって数ブロックに分類を行う。

利用者カウント調査...利用者数をブロック毎に日の出から日没まで2時間毎に調査し、時間帯、性別、年齢、利用区別に人数を把握する。ここで利用者の平均滞在時間を2時間と考えると各調査時刻における観測値の合計を1日の利用者数とみなす。利用区分については下表に示すとおり。

	利用区分		対象とする利用
	利用区分	対象とする利用	
陸上利用	散策、休息、花見等		観光・旅行、山菜とり、花見・紅葉・新緑見物、散策、遠足・ピクニック、休憩・トイレ利用等
	陸上スポーツ		テニス、サッカー、(ミニ)ゴルフ、マラソン・ジョギング、ゲートボール、サイクリング、野球、ソフトボール、その他の陸上スポーツ等
	その他	野外活動	キャンプ、写真撮影、写生、野外バーベキュー、昆虫採集、バードウォッチング、その他のアウトドア活動等
		各種施設利用	レストラン、売店、ホテル、温泉、資料館、記念館、有料遊戯施設、QQセンター(ミニバス、ゴーカート)
湖面利用	釣り	ボート利用	ボートに乗って釣り糸を垂らす
		湖岸	湖岸で釣り糸を垂らす
	遊覧		平こぎボート、サイクルボート、遊覧船
	水上スポーツ		ヨット、水上スキー、ウィンドサーフィン、漕艇、カヌー、その他の水上スポーツ
その他		水泳、水遊び、その他の湖面利用	

利用者アンケート調査...利用者カウント調査と並行して利用者に対し交通手段や目的地等について直接質問を行い、回答を得た。最小サンプル数(アンケート対象者)は各調査日において20人以上とする。

イベント調査...ダム管理者や施設の運営主体等から調査区域内において開催された概ね100人以上が参加するイベントについて、期間、時間帯、規模、種類等について直接聞き取りを実施した。

##### 3. 年間利用者数の推計方法(平成15年度報告書より)

平成15年4月から平成16年3月にかけて各季節別に実施した合計7回の調査結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間のダム湖利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

① 各季節の期間、休日・土曜日・平日の日数は以下のとおりとした。

春季：3/1～5/31 (休日16日、土曜日11日、平日65日)

夏季：6/1～8/31 (休日15日、土曜日13日、平日64日)

秋季：9/1～11/30 (休日18日、土曜日13日、平日60日)

冬季：12/1～2/29 (休日17日、土曜日13日、平日61日)

② 各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

表 V.3.1 年間利用者数の推定方法

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日①	2,305	3,118(*3)	219	1,154	16	65	11	76,813	437	160,629
	休日②	3,931									
	平日	219									
夏季	休日	1,826	1,826	530	676	15	64	13	70,093	437	160,629
	平日	530									
秋季	休日	367	367	66(*2)	136	18	60	13	12,335	437	160,629
冬季	休日	29	29	5(*2)	11	17	61	13	951		

- \*1：休日×0.37
- \*2：休日×0.18
- \*3：春季休日①と春季休日②の平均値

※ 欠測した調査日については、利用者数を0とした。ただし、春季休日に関しては、休日①または休日②のいずれか一日を欠測した場合は、調査を実施した休日の値を春季休日の原単位とした。